

持経宿・熊野修験奥駈行の接待

及び持経宿改築調査と平冶宿巡回

◇実施日：平成26年6月15日(日)；晴時々薄曇

◇参加者：木下嘉彦、川島 功、沖崎吉信、生熊敏男、

児嶋道夫、大江加予子、大江徳子、畑林清子。

NHK和歌山放送局(斉藤基樹、渡邊 功)2名。

熊野修験(赤坂、花井)2名。 計12名。

児嶋車(川島同乗)と赤坂車(沖崎、斉藤・渡邊氏同乗)は、山路のサークルKで合流する。五郷地内は、この時期としては珍しい秋の天気が良い時の様に、冷え込んで朝霧に覆われている

対向車も少なくスムーズに走行出来、待合わせをした池原公園で大江車、和歌山から来られた花井車と合流する。

児嶋車、大江車、赤坂車の同乗者は花井車に乗換え持経宿へ。

池郷林道の崩落箇所は、難工事で2ヶ月遅れの6月上旬に完工し通行可能となった。ゲートからの未舗装林道は、今秋まで間伐材搬出業者が作業している事から路面に凹凸があるも、間伐材搬出トラック等で比較的走りやすい。

7時半頃に児嶋・大江車が持経宿に着く。早速荷を降し、大江、畑林さんは、甘夏柑の切り分け・紅茶作り。生熊さんは不動堂内の清掃と高野槇・シキビ、お供え替え及び幟立て。

児嶋さんは屋根の点検及び発電機による点灯点検。

木下棟梁には、前田勇一氏が持経宿・建築後35年になり、玄関側の柱・根太・板外壁の腐朽が激しい事から。改築調査と施工

見積りをお願いする。

川島は、千年檜祠のシキビ・お供え替えと幟2本を立ててに行く。花井車は、未着で石ヤ塔の撮影で遅れている様だ。(法螺を取りに戻る)8時過ぎに千年檜祠での作業を終えて小屋に戻りかけた時に沖崎氏に案内されてNHKの斉藤、渡邊氏が登って来られる。

ここで両氏は、熊野修験奥駈行一行の取材撮影で留まられる事から、沖崎氏と持経宿に戻る。赤坂・花井氏は、行者装束に着替えられ熊野修験一行を出迎えに行かれる。



西瓜・紅茶等の接待準備完了!

腐朽の激しい柱・根太・板外壁

行仙宿5時出発だと着く頃だが、未だ法螺の音が聞こえない。9時半過ぎに法螺の音と共に熊野修験奥駈行39名が着かれ不動堂で勤行、法螺師も多く荘厳な音色と共に般若心経が山並に響く。

高木亮英導師から当ぐるーぷへ労いを言ってお下り、紅茶・西瓜及び菓子でしばらく休憩して頂く。差入れのみかん(カラー)・甘夏柑袋は各自持って行って貰う。



熊野修験奥駈行一行到着！

勤行に唱和の新宮山彦スタッフ

慌しい休憩後、持経宿で足を痛めた1名が下山、新たに3人(赤坂、花井・沖崎)が加わり総勢41名が隊列を整え、阿須迎利岳の急登を「六根清浄！ 懺悔・懺悔！」と唱和しながら登って行かれ、「満行されますように！頑張って！」と見送る。

川島・児嶋、NHKの斉藤・渡邊氏は、平治宿巡回に行く。

シロヤシオの花が散り、緑濃くなった葉を一杯広げたブナ、ナラ・朴などの広葉樹尾根の奥駈道を辿る、本当に気持ちが良い。

千日刈峰行・第1回(S59.6.9～10)の記念すべき標識設置地点は、満30年になり取材撮影。周辺は篠枯れで当時の苦勞が偲べられない。平治宿に11時過ぎに着く。

児嶋・斉藤氏は玄関柱の防腐剤塗り。渡邊・川島は水場径と水場の点検へ。水場は異常無し。径に梯子を固定した最下部の木柵は鉄筋が岩盤で刺さらず外れていた。直ぐに補修できなかった。

昼食時、沖崎氏手配の冷えたビールを持経宿に置き忘れ乾杯出

来ず、児嶋さん持参のコーヒーになる。

児嶋さん小型ロケットストーブ？を設置して下さる様で、囲炉裏を採寸後に持経宿へ戻る。

持経宿に戻り、取材・作業終了をビールで乾杯、西瓜をご馳走になり下山。尚、4月以降の志納金は、持経宿7.2万、平治宿2万ありご利用有難うございます、小屋の維持管理に使わせて頂きます。

花井車は、熊野修験下山者が運転され、荷の重い方の荷を積み、NHKの方も同乗。池原公園でNHKの方は大江車に乗換え、花井車は前鬼へ迎えに回送された。



下山時、平治宿・西行歌碑前で

持経宿で取材・作業終了乾杯！

行動タイム

新宮 5:30 → 6:40 池原公園 6:45 → 7:30 持経宿。熊野修験 9:35 着、10:00 発。持経宿 10:15 → 11:10 平治宿 12:25 → 13:10 持経宿 13:30 → 14:15 池原公園 14:30 → 新宮 16:00。(記 川島)